

株式会社アラオカ

〒970-1144 福島県いわき市好間工業団地 17-1 TEL. 0246-47-0118 FAX. 0246-47-0121

●代表者：代表取締役 荒岡慎介 ●設立：昭和35年1月
●資本金：3,200万円 ●従業員：29名 ●URL：http://www.araoka.jp/短期納期型自社用生産管理システム
導入により歯車加工競争力の強化を実現

「フェースギヤ加工プログラム」により加工したフェースギヤ

きっかけ・課題

当社は創業以来、歯車の試作加工を得意としており、見積りから受注、加工、納品までを一貫して行えることを強みとしています。

これからの時代、他社との差別化を図るためにも顧客ニーズに対応するための生産管理システムの必要性を実感していました。

試作案件では納期最優先の引き合いが多く、各工程・機

械毎の進捗および負荷状況の把握が非常に重要です。これまでは属人的な管理方法のため回答単価・納期の精度が低く、受注を逃すことも多く対策が急務と考えていました。

それに加え、当社で加工のできない特殊歯車加工の引き合いも増え、「どんな歯車でも加工できるメーカー」を目指すために設備導入が必要でした。

INTERVIEW



どんな歯車でも製造・加工できる会社を目指す

株式会社アラオカ 代表取締役 荒岡慎介

当社は、東京都世田谷区で歯車加工専門メーカーとして今年で設立60年目を迎え、さらにいわき工場は創業から32年となり、今では当社加工品の100%を製造するまでに至っています。主な製品は歯車およびタイミングプーリで、多品種小ロットおよび高精度歯車の加工を得意としています。

今後も、歯車及び関連加工技術で世の中に貢献しながら、環境保全を前提に企業活動を行い、どんな歯車でも製作できる会社を目指します。

実施内容

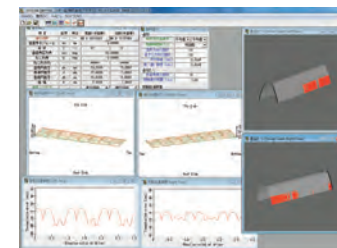
自社用生産管理システムと歯車加工関連設備の導入

試作案件の受注拡大と歯車加工競争力を強化するため、3つの設備導入を決めました。

一つは「短期納期型自社用生産管理システム」です。このシステムを導入することにより、工程毎・機械毎の進捗および、負荷状況を共有化でき見積精度を向上させることが可能になりました。さらにハンディターミナルの使用により入力作業の削減も期待できるようになりました。

二つ目は、品質の精度向上を図るために、特殊歯車加工支援ソフト「フェースギヤ加工プログラム」を導入しました。

そして三つ目は、「歯車回転伝達誤差測定プログラム」の導入でした。このプログラムの導入は品質においても他社との差別化を図るべく必要な設備だと判断しました。



事業の成果

他社との差別化と歯車競争力の向上を実現

短期納期型自社用生産管理システムの導入で見積り、受注、生産計画作成、在庫管理までを正確かつスピーディーに進めることが可能になりました。また日報や作業工数の集計など、各個人の作業効率の意識付けにもつながり、生産性向上が実現しました。

また歯車加工支援ソフトの導入でフェースギヤの3Dモデルの作成が可能となり、新たな顧客獲得が可能になりました。

さらに歯車回転伝達誤差測定プログラムの導入により、これまでとは別角度からの検査が可能になり、他社との差別化を実現しました。



FUTURE OUTLOOK

これまで培った技術を時代のニーズに生かす

近年では医療機器やモーターなどロボット関連部品など、新しい分野からの受注も増加しています。これまで同様「どんな歯車でも加工できるメーカー」を目指しながら、次代のニーズと社会に貢献する企業として、これからも努力してまいります。

